

大凧 便り 第212号

ブログ発信中 <http://oodakomuseum.shiga-saku.net/>

編集・発行 世界凧博物館東近江大凧会館 令和6年1月16日発行
〒527-0025 滋賀県東近江市八日市東本町3番5号
TEL: 0748-23-0081 FAX: 0748-23-1860
IP: 050-5801-1140
開館時間: 9時~17時 休館日: 水曜日、第4火曜日、祝日の翌日
平成18年度から指定管理者制度により(公財)東近江市地域振興事業団が管理しています。

毎月第3日曜日は「家族ふれあいサンデー」 東近江市民の方は、「ふれあいカード」をお持ちの上、家族でお越し下さい

祝新成人20畳敷大凧「夢達成」飛揚

新成人の男性約30人が引綱を持ち、大凧保存会会長の太鼓の合図で一斉に走り、大凧を舞い揚げました。大凧の絵柄は、辰(たつ)年にちなんで上部に星を囲む辰を二頭、下部に「夢」の文字が書かれ、『夢達(辰)成(星)』と読ませます。二十歳を迎えられたみなさんは、それぞれ夢を持っておられると思いますが、夢が達成するまで様々なことに頑張してほしいという意味になっています。



~たくさんのご参加ありがとうございました。~

新春凧揚げ大会を開催しました。



年が明けて早くもひと月が過ぎようとしていますね。年明けから災害、事故など大変なニュースが続きましたが、皆さんお正月休みはどのように過ごされましたか。大凧会館は年明け1月3日から開館だったのですが、たくさんの方がご来館いただき、企画展の見学や凧作りを楽しむお客様で大変にぎわっていました。

1月7日(日)は、東近江市の成人式

の日。恒例行事となっている新成人を祝う「成人の凧揚げ」に合わせて、「新春凧揚げ大会」を聖徳中学校グラウンドで開催しました。心配していたお天気も気温は下がっているものの荒れることなく、太陽が顔をを見せてくれました。早くから親子連れやご家族が来られ、市内のみならず、

県内・県外から200名を超える参加者があり、持参した凧を揚げておられました。大凧会館の凧作り教室で作った「カトムシの凧」「飛び出し坊やの凧」「サンタクロースの凧」「辰の干支凧」などもあり、冷たい風を受けながらとてもよく揚がっていました。先着50名で行った凧作りも大盛況で、子ども達は作った凧を持って、早速グラウンドで凧揚げ開始です。凧がうまく揚がると、皆さん凧を見上げながらとてもいい笑顔をされていました。小学生以下のお子さんには、大型サイコロを振ってもらい、出た目の数だけのみかんをプレゼントのコーナーがあり、いくつが出るかわくわくしながら楽しみました。「新春凧揚げ大会」が皆さんのご家庭の年間行事に入れていただくと嬉しいです。



大凧を弓なりにして、大凧の前で記念撮影



飛揚祈願 竜頭に御神酒をかけ、新成人が綱を引きます。



ふわりと舞い揚げられました！！



大凧会館ブログ <https://oodakomuseum.shiga-saku.net/c64425.html>

＝夢叶うまで挑戦～8畳大凧舞う～＝



滋賀県東近江市の地域文化であり、国の無形民俗文化財にも選択されている「東近江大凧」の将来の担い手となる子ども達に、その製作及び飛揚技術を伝授するプロジェクト「チャレンジ”大凧”」の8畳大凧を1月7日(日)に行われた新春凧揚げ大会・祝新成人20畳敷大凧飛揚の時に飛揚しました。飛揚した大凧は約4m四方の8畳敷サイズで、参加している東近江市内の小学生9人が、昨年の10月21日(土)から製作日数8日間をかけた製作したものです。絵柄は、上部の「アゲハ蝶」と「叶」の文字、下部に大きく「ゆめ」を書き、背景に2本の線が描かれて、併せて、「夢(ゆめ)叶うまで挑(蝶)戦(線)」となります。



当日は、新春凧揚げ大会に県内外から訪れた皆さんの前で披露。時折強い風が吹く中、お揃いの赤帽子と法被を着たメンバーは、大凧保存会から凧あげの役割などの説明を受けた後、ロープを持ち、保存会会長の太鼓の合図で一斉に引き、大空にふわりと舞い揚がりました。凧揚げは、11時ごろに3回、13時頃に3回凧揚げに挑戦しました。

＝「辰の絵をかいて大空に揚げよう」を開催しました＝



今年の干支の「辰」の絵を書いて凧を作る親子凧づくり教室を12月23日(土)に開催しました。まずは、3種類用意した辰の絵柄の中から好きなものを選んで六角形の紙に写します。下絵が出来上がったら、好きな色を塗って乾かします。竹に接着剤を塗って、絵が出来上がった紙に取り付けます。次に竹と竹が重なっている部分に糸でくくり、凧を反らす糸とあげ糸、最後にしっぽを取り付け完成しました。



＝辰の張り子 絵付け教室＝



東近江大凧会館では新春恒例の辰の張り子絵付け教室を1月8日(月)に行いました。今年は、埼玉県春日部の張り子を使っての絵付け教室です。春日部の張り子は、江戸時代からの伝統工芸で、緑色に塗られたぼっこりとした辰の張り子に目や角、ひげを描いていきます。作業が始まると、みなさん、慎重に絵筆を動かしておられました。子どもだけでなく大人の方の参加もあり、学校の授業以来、久しぶりの創作体験をして楽しかったという感想をいただきました。絵具や筆を使うことは、大人になるとだんだん少なくなってくるのですね。でも、子どもたちは元気いっぱい、思い思いの辰を描いてその出来に大満足でした。毎年、干支の張り子を作ってもう3つも完成したという常連の方もおられ、こうして教室がまた来年、そして次の年と続くことができればよいと思います。みなさん、辰の張り子のように1年上を向いてがんばっていきましょう。



＝近江だるま絵付け教室＝



東近江大凧会館では1月14日(日)「近江だるまの絵付け教室」を、近江だるま保存会の皆さんの指導をいただき、開催させていただきました。「白い張り子のだるま」に顔の下絵を仕上げた後から色を塗っていきます。色は、一色塗るごとにドライヤーで乾かす作業で繊細なものとなります。最後に朱色を塗り完成となります。顔を描くのは非常に難しそうでしたが最後の朱塗りさえすれば、「だるま」らしくなり、皆さん、出来栄に満足していただけたように感じました。完成した「だるま」は個性的でかわいく、魅力的なものばかりでした。



「近江だるま」とは、東近江市に伝わる張り子の郷土玩具で、旧能登川町佐野で大正時代の初期に画商の寺井大門さんが制作を始め、当時縁起物として親しまれていたそうです。

＝ガオがくるぞ！大作戦2024＝



2月3日(土)11時からショッピングプラザアピアの1階セントラルコートでダンスや演奏などのステージショーとワークショップが開催されます。大凧会館では、ガオさんの「おさんぽカイト」で参加しますので、ぜひお越しください。メインイベントは、17時からガオが登場し、抽選会やお礼の配布、写真撮影会があり、そのあとガオさんが各ご家庭に訪問します。

＝迫力満点！鬼が描かれた凧を展示＝

＝鬼退治！！「鬼の凧展」＝



鬼はそと～～♪福はうち～～♪。2月3日は「節分」です。

東近江大凧会館では、2月3日の節分にちなみ、京都の大江山で源頼光が鬼退治する絵柄の6畳の大きさがある凧、鬼が武者の兜に噛み付いた鬼伝説の姿を描いた長崎県杵岐地方の「鬼凧」、涙を流すのを表した紅白の房を鬼の目に取り付け、「優しい心も持って鬼のように強く育てほしい」という子どもの成長を願った山口県見島の「鬼ようず(ようずとは凧のこと)」などを展示します。



開催期間 令和6年1月26日(金)から2月12日(月)まで
期間中の休館日 水曜日

＝2024年2月の予定＝

- 12日(月)まで 「鬼退治！！鬼の凧展」
- 3日(土) ガオがくるぞ！大作戦2024
- 6日(火) 八日市南小学校4年生 見学
- 16日(金)～4月14日(日) 福よせ雛
- 18日(日) 家族ふれあいサンデー
- 2月休館日：2/7・2/14・2/21・2/27・2/28